

## 法人役員への意見・質問等

### I. 企画、ICT 戦略推進、人事、教育・研究（高等教育）関係

- ① ICT 教育の一環として、WebClass はとても良いアプリケーションだと思いますが、情報が更新されたことが一目では分からず、全てを開いて内容が新しくなっているかを確認する必要があります。更新を表示するマークを付けるなど改善していただければ、より利用されるようになると思います。また、学生にアンケートを取るなどして、積極的に改善して頂けると有り難く存じます。
- ② 授業で一人一人が PC を使うようになりましたが、重い端末を充電のために毎日持ち帰らなければならない、荷物の量も重さも増しております。各学校で教科書の WEB 化、ノート使用の縮小化などに取り組んでくださっていると存じますが、学習院全体として、学校で充電できるようにすることや、Wi-Fi の電波が十分行き渡るようにすること（課題等を学校でも行えるように）などをご検討いただけませんか。
- ③ 女子大学の今後について、ご説明があれば幸いです。（学部はそのまま、男子学生もとるのか、等）
- ④ 1年間休学させていただいた娘（女子大学学生）から聞いたこと、思ったことを述べさせていただきます。下の声を学校に届けていただきたくお願い申し上げます。
- ・ Triwity College アイルランド・ダブリンの大学をみていて、学生が好きな時に使えるジムが設置されていて、いいなと思った。
  - ・ 個人的に留学生とたくさん関わりたい。どういうイベントがあるのか知らないから知りたい。（今後、娘の思うようなことに対してお考え、予定を伺えたらと存じます。）
  - ・ 復学にあたって何度も同じ説明をしたので、事務ってあまり他部署と繋がっていないのだなと思った。（娘は、自分のことが学内各部署で共有されるシステムになっていないと感じているようです。）
- 親の思いとして、学生が国内の他大学とは違う体験、学びができる学習院にどんどんなっていくと嬉しいです。このような機会を与えていただき感謝申し上げます。
- ⑤ 大学の先生方や、昨今の研究業績を拝聴する機会においては、毎回、世界に伍する大学としての学習院の地位の向上が実現したことについて感銘を受けるとともに、慶応大学や早稲田大学とともに、御三家とされているという母校の状況を伺い、誇らしく思っております。その傍ら、時に、そうした認識について、主観的に共感する場合であっても、客観的な観点から、どのように整理し、コミュニケーションをとるべきものであるかについて、悩ましく思うこともあります。この点、大学が中期的に目指す姿（例えば、10

年以内に、国際的にも世界のトップ100大学と認定されるなど）と、そのための評価軸の数値的指標（所謂 KPI）を定め、定期的なモニタリングを行うことは、状況の正確な確認や正確な内外へのコミュニケーションに有益ではないかと思えます。KPI を定められた折には、ぜひ、定期的にもその評価結果を保護者にも還元していただければ幸いです。

- ⑥ 過日、大学への要望として主にトイレの不備を述べた。（汚い、用具が出しっ放し、液体石鹸が補充されない）まだ改善されていないようだ。雇用している清掃員へのフィードバックはなされているか？人数は足りているか？質はどうか？追跡調査は？過剰労働では？彼らをチェックする立場の方は、同じようにお仕事が多すぎて目が行き届いていないのでは？先生方や職員も同じように使用しているであろう施設なので、同じことをお気付きのはず。清掃員が職員用のみ手厚く…とは考えたくはないが…トイレは心の鑑。キャンパスの隅の誰が使うのか？という様な所でも、キレイに清掃されていたら気持ちがいいはず。

そこで、学生による親衛隊のような組織作りを提案します。学内を探検し、又、普通に生活する中で気付いたことをすぐに知らせる。スマートフォンで撮影し投稿する。受け皿は一括し、何でも投稿して OK とする。そうしたらポイント「1」、自分で対処したら（掃除用具を片付ける）そこを撮影して投稿、ポイント加算。そのポイントは学食や募金会で使える何かとする。賛同いただける教授の授業の出席券とか…。リーダーが必要なので応援団とか、大学祭実行委員会とか、いかがか。自分達の学校がよりよくなることのお手伝いが直接的にできるのは悪くはないはず。よいムーブメントになることを期待する。

## II. 教育・研究（中等教育・初等教育・保育）、施設関係

- ① 中・高等科のプールが老朽化のため不衛生で危険というご意見を多く伺っております。修繕などは行っていただいているようですが、それでは追いつかないように思われますので、建て替えをご検討いただけませんかでしょうか。
- ② 文部科学省では、昨今の学校事故の情勢等に鑑み、私立学校を含めたすべての学校に適用される、「学校事故に関する安全指針」を定め、これを公表しています（下記参考 URL 参照）。同指針は、学校における事故の抑止と、事故発生時における保護者や地域、関係機関等との連携・協働体制の整備、学校内や学校設置者から学校への事故事例の共有、学校の管理下で発生した重篤な事故についての設置者等への報告、学校設置者による死亡事故についての検証・分析といった対応を求める指針であり、その重要性から、文部科学省の直接の管轄下でない私立学校においても、適用が求められています。もっとも、学習院では、同指針が採用・運用されておらず、公立学校に安全管理面で後れをとっている可能性があるほか、そうしたガイドライン類の存在を適切に把握・フォローできて

いないように窺われます。児童・生徒の安全に関わる体制については、十分に整備することが必要ではないかと考えます。また、その際には、学校法人の役員の積極的な関与と本部による支援が必要と思いました。

参考 URL : <https://anzenkyouiku.mext.go.jp/guideline-jikotaiou/index.html>

- ③ 同様に、文部科学省で、学校における熱中症事故の多さを踏まえ、学校設置者における熱中症対策ガイドラインの作成に関する指針を策定しています。同指針では、熱中症の症状及び重病度分類、暑さ指数のモニタリングの必要性をはじめとする基準を示していますが、学習院初等科では、同指針に沿った運用はされていないように窺われます。こうしたガイドラインの策定は、上記同様、学校法人としての役員が関与していくことが肝要と考えます。
- ④ 令和4年度の学習院初等科の運動会においては、例年のとおり、万国旗が飾られ、会場に華やかさを加えていたように思いました。もっとも、掲揚されている国旗を拝見しますと、ロシアの御国旗はある一方、ウクライナの御国旗はないように窺われました。昨今の国際情勢に鑑みれば、初等科の公的性質や、所在地等を勘案すると、こうした扱いを続けるべきかどうかは、予め法人としての立場を確認しておくことが有益ではないかと思えます。

### Ⅲ. その他

- ① 幼稚園での生活もコロナ禍前とほぼ同様に戻り、子ども達の明るい声とマスクを外した素顔の笑顔にあふれております。これまでのコロナ対策へのご配慮に感謝申し上げます。